

マリンレジャー安全レポート

第七管区海上保安本部
マリンレジャー安全推進室
093-321-2931(担当;上野)

第 103 号 平成 26 年 4 月

年度当初のご挨拶



満開の桜も気づけば散り乱れ、つつじや菜の花を見ながら、ようやく暦上だけではなく、春の訪れを肌で感じることができるようになりました。

異動による新たな出会いと別れを経験された方も多くいらっしゃるものと思われます。

私の職場にも異動で新たな風が吹き込みました。爽やかな春の日差しを浴びながら、新しい仲間と新しいスタートを新たな気持ちでがんばります。

ライフジャケットがあなたを守ります

さて、間もなく待ちに待ったゴールデンウィークの季節が到来します。このゴールデンウィークを今年のマリンレジャー開始時期と心に決めて、待ち遠しくされているマリンレジャー愛好家の方もいらっしゃると思います。

そこで、まずお願いしたいのは、ライフジャケットの着用です。

ライフジャケットには、膨張式(首掛けタイプ、ベルトタイプ、ジャンパータイプ、ウェストポーチタイプ)、固形式、空気密封式、そして小児用の4種があります。



< 膨張式 >



< 固形式 >



< 空気密封式 >



< 小児用 >

固形式、空気密封式、小児用を使用する際には、外観点検を行い適正に装着することで安全に使用することができますが、膨張式はさらに作動部の点検が必要となります。

膨張式は、炭酸ガスボンベから浮力体のふくろにガスを充填させ、浮力を生じさせるものです。このため、膨張式ライフジャケットを正常に作動させるために、

- ・ ボンベに穴が開いていないことを確認（開いていれば炭酸ガスボンベを新品へ交換）
 - ・ ボンベを確実にセットする
 - ・ ボンベからガスを噴出させるための機構部分の劣化有無等の作動確認
- の3つを装着前に点検する必要があります。

万が一の際には、ライフジャケットがあなたを守ります。「ライフジャケットは暑いから着ない。」「面倒くさいので着ない。」この考えはあなたの家族や友人を悲しませることに繋がります。ライフジャケットは、事前に点検を行い、適正な装着をお願いいたします。

ミニボートの事故が増えています

ミニボートとは、

- ・ 長さ3メートル未満（長さ＝船体長×0.9）
- ・ 推進機関の出力が1.5kW未満
- ・ プロペラ回転緊急停止機構

の3つを満たすものを言い、免許を持たなくても、また船舶検査を受けなくても操船することができるものです。

しかし、手軽に船釣り等のマリンレジャーを楽しむことが出来る反面、

- ・ 眼高が低いために周囲が見渡しにくく、他船からも発見されにくいことから、衝突の危険性が高い
- ・ 船自体が小さいため、小さな波や船上でバランスを崩しただけでも転覆の危険性が高い
- ・ 風潮流が強い場所では、推進機関の出力不足で沖へ流される危険性がある

という危険性があります。

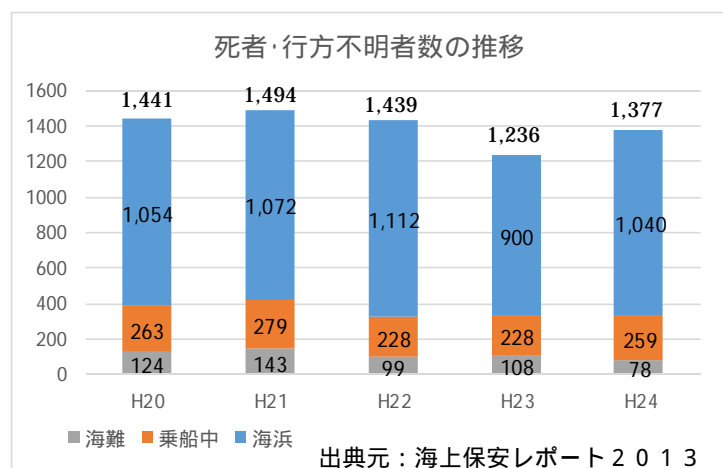
昨年度は、転覆、帰還不能、海中転落による重傷、死亡事案が発生しております。

ミニボートでマリンレジャーを楽しむ際には、上記に注意しながら安全にお楽しみください。

自己救命策 3つの基本！

海中転落による死者・行方不明者数は、毎年1,300名前後で推移しています。

この数を少しでも減らすため、「海で命を守る3つのポイント」について、今一度、確認をお願いします。



バックナンバー

http://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kyunan/marine_anzen_report/